

# 新小山市市民病院ニュースレター

Shin-yama City Hospital News letter

Vol.39

## 1 副院長挨拶

### ～ 研修医・学生の指導教育を通して成長していく ～

当科（外科）は、平成29年から自治医科大学の初期研修医の地域外科実習として概ね2か月クール、令和4年から当院初期研修医の外科研修として2か月、令和3年からは自治医大の5年生の学外BSLを週2日毎に受け入れてきています。当初少ないスタッフで受け入れるにあたっては、人的余裕のない中で十分な指導・教育ができるか不安な面もありましたが、積極的に関わることにしました。何故なら、研修・実習に来る研修医・学生にとっても、自身も含め受け入れる当院外科（医）にも計り知れないメリットがあると考えたからです。当院は、研修医や学生にとって、大学病院のような大病院では少ないいわゆる外科のcommon diseaseを経験できる点で意義があると考えています。ご承知の通り、外科が扱う疾患は決して各消化器癌が主ではなく、痔疾患、ヘルニア、胆石、虫垂炎などの良性疾患が多数を占めます。こうした疾患の診断から治療に至るまでを経験するには高度医療を担っている大学病院より当院のような市中中核病院が適しています。当院ももちろん癌疾患を扱っておりその数も増加してはいますが、依然として良性疾患は少なくありません。特に外科専門医を目指す段階でない初期研修医や学生にとっては、外科全般を経験できる環境は重要です。この点が当院規模の病院が彼らの外科研修に貢献できる最大のメリットであると考えています。

一方、受け入れている当病院・当外科側にとってもいくつかの意義があります。一つ目は、初期研修医や学生の存在が組織に活力をもたらす点です。特に感じるのは回診や手術の場です。チーム医療を実践している中堅以上のスタッフの中に若手が入ると組織全体の活力が出てきます。ベテランの先生と若手医師が同じ土俵に立って、協同で同じ目的に向かって活動していくことで、教育を通してディスカッションを深めていきます。素晴らしい光景です。二つ目は、ベテラン医師同士が淡々と阿吽の呼吸で診療を行っていただくだけではなく、ベテランの医師が若手の指導をすることで、これまでの自身の知識や技術を振り返るチャンスが得られます。あやふやな知識はそのまま伝えられないわけですから、時に今一度勉強しなおすことを自然にすることとなります。これはベテラン外科医にとって貴重な経験となります。人に教えるということは自分も勉強しないと成立しないことを無意識に感じ取ることが出来からです。時に質問されて答えに屈する経験は、自身にとって貴重で、ありがたいものです。3つ目は若手外科医師が自分より若い研修医や学生を指導することで、ベテラン医師との一方通行の常態が崩れ、双方向にコミュニケーションをとれる効果が得られます。これはそれまで以上に人間関係をも豊かにします。研修医や学生が来ると、若手外科医師の表情が明るくなるのがそのことを証明しています。全員回診の時や手術の場で、ベテラン医師、中堅医師、若手医師、研修医、学生が絡み合っている姿を見るにつけ、ひとり“にやにや”しています。今後も地域基幹病院として成長していくには、これまで以上に教育を通じた若い世代との協同が望まれると確信しています。

令和4年12月

新小山市市民病院 副院長・外科部長 栗原 克己



### 目次:

副院長挨拶	1
新任医師紹介	2
決算報告	3
お知らせ	4

### ハイライト

- 10月、11月に入職しました新任医師をご紹介します。
- 研修医が内科系研修を終え、外科系の研修と当直が始まりました。彼らの近況を報告します。
- 令和3年度の決算報告をさせていただきます。
- 患者支援センターからは、紹介・逆紹介率の報告をさせていただきます。

分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。

## ポットラック カンファレンス

偶数月、第1火曜日 19:15 ~

オンライン (Zoom) にて  
開催しております。

12/6, 2/7

## 地域完結型 医療・連携の会 ~ WEBライブセミナー ~

奇数月、第3木曜日 19:15 ~

1/19, 3/16

今後も皆様のご意見を  
もとに改善を行っていきます  
ので、たくさんのご参加  
お待ちしております。



## ドクターの紹介 10月、11月採用の医師を紹介します。



外科  
副部長  
窪木 大悟

令和4年10月より赴任しました外科の窪木 大悟 (くぼき だいご)と申します。千葉県銚子市生まれで、2011年に自治医科大学を卒業後、出身高校のある茨城県で地域医療に従事し、自治医科大学消化器一般移植外科に入局しました。

地域の皆様に安全で質の高い外科医療をご提供出来るよう、努めて参ります。

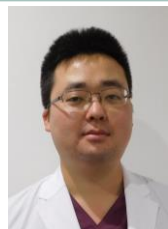
小山地区医師会の先生方にはお世話になることと存じますが、何卒よろしくお願い致します。



整形外科  
副部長  
樋貝 保弘

このたび整形外科に赴任しました 樋貝 保弘 (ひがい やすひろ)と申します。自治医大を卒業し山梨県と石川県で9年の義務年限を行いました。その間、消化器内科→整形外科→救命センターを経由しました。人より遠回りな経歴ですが、その分広く浅く、苦手分野がないことが自分の武器であると考えております。この2年間は自治医大病院の外傷整形外科に所属し高エネルギー・多発外傷の治療に全力で取り組んできました。

これらの経験を活かし、さらにこちらでは慢性疾患の治療に関しても積極的に取り組んで参ります。どうぞよろしくようお願い申し上げます。



神経内科  
医員  
齊藤 和弘

令和4年10月より赴任しました 齊藤 和弘 (さいとう かずひろ)と申します。埼玉県さいたま市出身で、筑波大を卒業しました。不慣れではございますが精一杯頑張りたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

## 研修医 NOW !



初期臨床研修医が入職して半年が過ぎました。10月からの研修は麻酔科・救急科と外科系です。また、指導医のもとで当直も始まりました。

今回は、外科系の研修と当直が始まった三木先生にお話を伺いました。



### 1週間のスケジュール

月・火・水曜	病棟、手術、病棟、自習
木曜	病棟、外来、病棟、自習
金曜	病棟、手術、手術、自習
土・日曜	日直の時あり

### 現在担当の診療科

心臓血管外科、整形外科

### 担当患者数

6人

### 当直回数

月に2~3回

### 1日のスケジュール

7:45~8:15	カルテ確認
8:15~9:30	病棟
9:30~	手術 手術後、病棟管理 回診、自習

## 現在の研修内容について教えてください。

術前の病状説明・手術・術後管理など今までの内科とはまた違った側面で医療を経験しています。直接目で臓器など人体の構造を診ています。空き時間には、糸結びや縫合セットで練習をして備えています。

## 初当直の感想を教えてください。

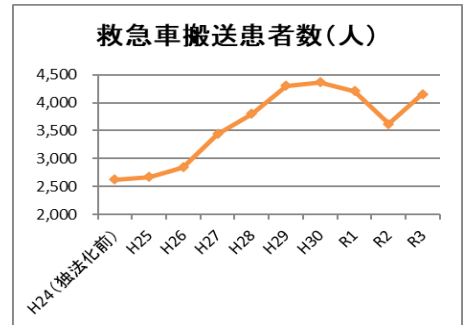
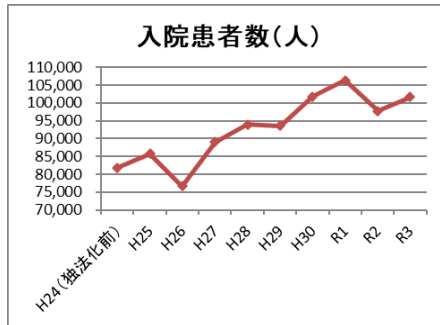
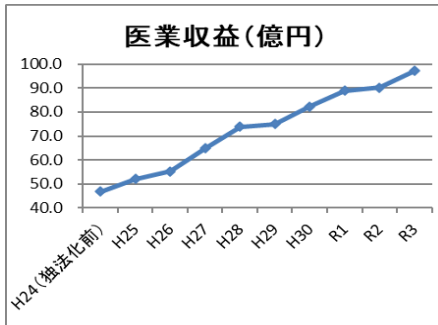
急性心筋梗塞の患者さんが搬送され、指導医の先生とともに対応しました。救急外来・病棟ともに経験を積んでいきたいです。

# 令和3年度決算について

～ コロナ診療と一般診療の両立により独法化後9年連続の黒字を確保 ～

令和3年度はコロナ禍の影響が依然続く中、地域中核病院として皆様のご期待にお応えできるよう、従来にも増して万全なコロナ対策を講じながら、安定した医療体制の確保、地域のかかりつけ医との連携、「断らない救急」体制維持のため職員一丸となり取り組んで参りました。また、これまでに蓄積した経験や知見を生かしつつ、**コロナ診療と一般診療のさらなる両立**に努めた結果、前年度大きく落ち込んだ入院患者数や救急車搬送患者数は、ほぼコロナ禍前の水準にまで回復しました。さらに、利用者の皆様からいただいた声を職員間で定期的に共有し、対策を検討、実践することで、利便性や快適性を向上させるための設備面や接遇面での改善にも努めました。これら全職員による不断の取り組みが奏功し、令和3年度**医業収益**は過去最高となる**97億円超**を記録、独法化後9年連続の黒字を確保することができました。もとより、コロナ禍の厳しい環境下にもかかわらず黒字決算を継続できたのは、地域の皆様による物心両面の温かいご支援の賜物であり、職員一同、心より感謝申し上げます。

依然、コロナ収束は見通せない中ですが、皆様から信頼され必要とされる地域密着型の急性期中核病院として、一層の医療機能の充実に引き続き努めて参ります。



## 新小山市民病院血液内科より小山地区医師会の皆様へ①

皆様、初めまして。新小山市民病院血液内科部長の多々良です。平素は、当科の診療に多大なるご協力、ご指導賜りまして、まことにありがとうございます。今回は、2021年3月に発足しました当科のVisionや個人的な課題などについて、自己紹介を兼ねてお伝えできればと思います。

当科が掲げるVision, Mission, Valueは以下の通りです。

### Vision

～目指す理想の姿～

当院医療圏の血液疾患患者に対して、安全で最適な治療を提供するとともに、患者との持続的な信頼関係と親しみやすさを大切にする「オンリー・ワン 血液内科」となる。

### Mission

～当科の使命・存在意義～

- ・ 当院医療圏の血液疾患患者に、造血幹細胞移植やそれに準ずる治療以外のほぼ全ての治療を提供できる。
- ・ 当院医療圏の血液疾患患者とその家族や介護者、近隣医療機関の皆様へ、深く信頼される相談相手となる。

### Value

～当科に関わるチームメンバーが大切にしている価値観～

- ・ 心理的安全性が確保されたチームとなる。
- ・ 一人一人が自らの理想とする医療を自覚し、それを見失わずに希求する。
- ・ 失敗は許容するが、失敗の原因を共有しそこから学べるチームになる。

目標達成はまだまだ遠く彼方にある生まれたての乳飲み子のような当科ですが、どうか温かい目で見守り育て頂ければ幸いです。

血液内科に止まらない話題となりますが、現在私は3つの課題に取り組みたいと考えています。

### 3つの課題

- 1) 悪性腫瘍治療、特に化学療法を受ける患者の医療環境改善
- 2) 特に悪性腫瘍終末期患者の医療環境改善
- 3) LGBT/SOGI Q 患者の医療環境改善

特に1)と2)に関しては、血液内科医の私には切実な問題ですし、上記Vision, Mission達成のために、欠くことのできないものと考えています。

実は3)も、悪性腫瘍治療において常に意識しなければならないということも、最近強く意識するようになりました。例えば、アルキル化薬やアントラサイクリン計抗腫瘍薬使用後の「脱毛」について考えてみても、脱毛患者を対象にウィッグの販売が行われていますが、利用者の圧倒的多数は生物学的性が女性の方達です。AGA治療を希望する男性が多くいる現在、治療後の脱毛についても大きなストレスを抱えている生物学的性が男性の方も多くいると思われます。

さらにLGBTQの方は国民の8.9%を占めるとの統計結果(電通ダイバーシティラボ2018による「LGBT調査2018」)もあり、生物学的性が男性の中に、脱毛に対して特に大きなストレスを抱えている方が、我々の想像以上に多くいらっしゃる可能性もあります。

当院医療圏にいらっしゃる全ての悪性腫瘍罹患患者やその介護・支援をされている方々が、罹患から治療あるいは亡くなるまで、心から当院で治療をしてよかったと感じて頂けるために、ときに皆様方のご協力も仰ぎながら取り組んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

## 患者支援センター

(受付時間 平日 8:30~17:15)

## 医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・  
その他地域連携に関すること)

## 予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・神経  
内科・循環器内科の受診予約・  
胃カメラ・心エコー・腹部エコー  
などの検査予約)

## 医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関する  
こと・MSWに連絡・その他、外来  
患者の各種相談に関すること)

## FAX：

0285-36-0352

## メール：

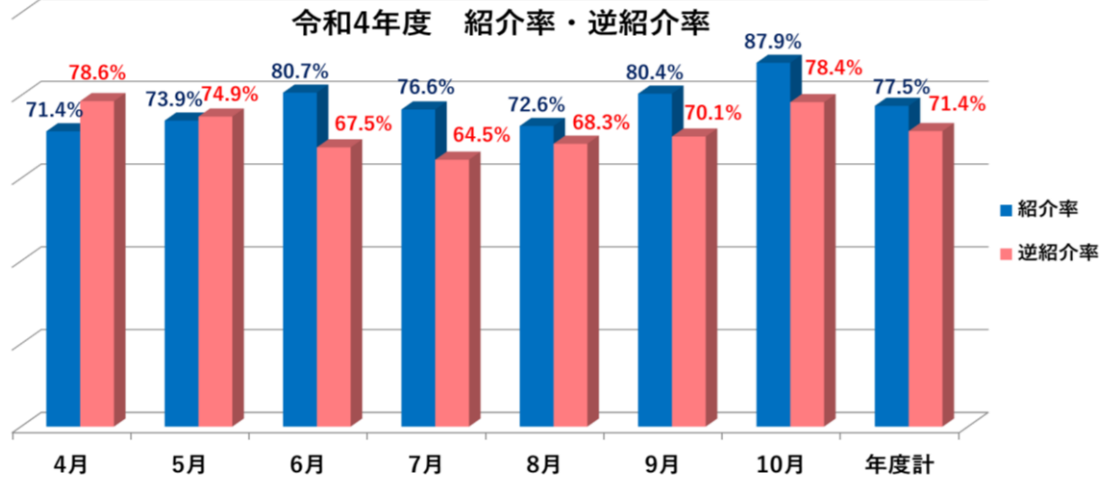
renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。

## 患者支援センターからのお知らせ



いつも当院運営にご理解・ご協力頂きありがとうございます。  
コロナの影響で紹介患者数の減少もありますが、地域の先生方のご理解  
より年度累計では、10月時点紹介率77.5% (昨年：76.8% +0.7%) でした。



## 小山市近郊地域医療連携協議会 研修会



参加者 77名  
(会場60名、WEB17名)

8月30日(火) 小山市近郊地域医療連携協議会「研修会」  
を行いました。この協議会は「小山市近郊地域における救急  
医療体制の整備や完結する医療提供体制の充実等を図ることを  
目的」として小山市近郊の15病院で構成されています。

今回は、講師に渡辺 優氏 (MM オフィス) をお招きし、  
『今後の小山・結城医療圏のあり方について』講演頂きました。  
講演では、今年度の診療報酬改定による地域連携の必要性や、  
データを使用して全国と比較した栃木の現状や課題等をお話し  
いただき、多数の参加者から「理解できた」「大変満足できた」  
「今後の業務に活かせる」等、ご好評いただきました。

## 第38,39回地域完結型医療・連携の会WEBライブセミナー

第38, 39回 地域完結型医療・連携の会 WEBセミナーをWEBと会場でのハイ  
ブリッドで行いました。

### 第38回

- ・日時 9月15日(木) 19:15~
- ・場所 新小山市市民病院
- ・座長 田野副院長
- ・症例報告者 消化器内科 飯田医師  
腎臓内科 三澤医師  
糖尿病・代謝内科 竹田医師
- ・院外参加者 19名



### 第39回

- ・日時 11月17日(木) 19:15~
- ・場所 新小山市市民病院
- ・座長 川上副院長
- ・症例報告者 神経内科 加倉井医師  
眼科 高橋医師 呼吸器内科 川口医師
- ・院外参加者 20名



次回 第40回地域完結型医療・連携の会  
WEBライブセミナーは、  
令和5年 1月19日(木)19:15~  
脳神経外科、泌尿器科、外科です。  
皆様のご参加をお待ちしております。



会場と  
WEB参加者  
を交えての  
質疑応答

地方独立行政法人

## 新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook

<https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital>

